

令和7年度 緑化活動啓発作品コンクール 審査講評

〈総評〉

- ・応募いただいた学校数は昨年より4校増加し46校であり、応募作品数は2割程度増の841作品となった。特にポスター原画では、学校を通さない個人応募が増えている。
- ・どの作品も熱心に取り組んだことがよく分かる魅力的な作品であり、どれも素晴らしいもので、選考に苦慮した。
- ・選考にあたっては、単に綺麗だったり技術的に優れているだけでなく、「森林づくり」や「緑化運動」としての思いが表現されており、かつ、ポスター・チラシという啓発媒体にふさわしい作品を選定した。

〈ポスター原画〉

■小学校の部：最優秀賞「北海道知事賞」

画題	「緑と動物」
作者	共和町立北辰小学校 6年 木藤 朱音（きどう あかね）
制作意図	緑が増えることで人も動物も幸せになれると思い描きました。
講評	明快な色彩で小学生らしくのびのびと描かれており、森林づくりで動物たちも喜んでいることが伝わる、ポスターとしての訴求力がある作品。

■中学校の部：最優秀賞「北海道教育長賞」

画題	「私たちが守る 未来の森林」
作者	北斗市立浜分中学校 3年 田澤 優海（たざわ ゆうみ）
制作意図	私は樹木に触れると、ほっとします。今ある森林は、昔から大切に育て守ってきた人たちがいるおかげです。次は、私たちの番です。
講評	確かなデッサン力、丁寧で細やかなタッチがとても上手で、人と木のふれあいが、木を大切にする気持ちを表現しており伝わってくる作品。

■高等学校の部：最優秀賞「北海道森林組合連合会会長賞」

画題	「エゾの森で育まれる命」
作者	北海道札幌北陵高等学校 2年 伊藤 楓華（いとう ふうか）
制作意図	森の生き物、植物、自然は私に癒やしを与えてくれます。今を生きる人々にその素晴らしさを伝えたく制作しました。
講評	豊かな色彩で、森と生き物、森と川と海のつながりが柔らかなタッチで繊細に表現されており、緑化活動への真摯な取組を感じる作品。

注：「制作意図」は作者が記述して作品に添付したものです。

〈標語〉

■最優秀賞「北海道知事賞」

作品	「育てよう 緑の命と 未来の地球」
作者	富良野市立富良野東中学校 3年 斎藤 梓紗（さいとう あずさ）
講評	森林を育てることが地球の未来につながることを素直に表現しており、未来の地球を大切にしたいという気持ちが伝わる、訴求力のある作品。